

中央市議会 だより



実り豊かな
生活文化都市

<http://www.city.chuo.yamanashi.jp>

さあ～
いってらっしゃい!!

No.36

平成27年3月1日発行

12月定例会で決まったこと……	P2
審議結果……	P6
市長の行政報告……	P7
一般質問に6議員……	P8
委員会レポート……	P11
3月定例会の予定……	P15
市民の談話室・編集後記……	P16

こどもまもり隊と登校する児童

推進 条例を制定

12月定例会が12月9日から19日までの11日間の会期で開催され、条例案件11件、平成26年度補正予算9件、その他2件が提案、審議されました。

また、最終日には、平成26年度補正予算1件が追加提案され、全案件が可決されました。

7,679万円を追加

一般会計 総額126億8,470万円

一般会計補正予算のおもな内容

総務費	・行政事務電算化事業費（社会保障・税番号制度システム整備費等）	▲1,307万円
民生費	・障害者福祉費（障害者自立支援給付費事業等扶助費） ・生活保護費（扶助費・返還金）	2,614万円 6,748万円
農林水産業費	・農地費（土地改良施設等基盤整備事業等修繕料・工事請負費・補償金）	1,590万円
土木費	・道路橋梁新設改良費（消防学校周辺整備工事請負費） ・公共下水道費（下水繰出金）	320万円 ▲2,060万円
消防費	・常備消防費（甲府広域事務組合負担金事業）	108万円
教育費	・小学校費（各小学校管理費光熱水費等）	486万円

特別会計補正予算

会 計 名	補 正 額	総 額
国民健康保険特別会計	3,809万円	33億3,425万円
後期高齢者医療特別会計	383万円	2億1,289万円
介護保険特別会計	▲936万円	17億8,233万円
簡易水道事業特別会計	1億2,969万円	3億7,828万円
下水道事業特別会計	287万円	13億5,866万円
農業集落排水事業特別会計	183万円	2億5,852万円
田富よし原処理センター事業特別会計	85万円	5,307万円
上水道事業会計補正予算	収益的支出 940万円 資本的支出 1億2,754万円	3億1,701万円 5億3,423万円

道路線の変更

市道1011号線（田富・玉穂・大津線）の起点位置を変更しました。

上水道事業会計未処分利益剰余金の処分

上水道事業会計で生じた利益剰余金の処分をしました。（議会の議決が必要）

議会の議決による処分額	▲4億7,754万円
内訳 他会計貸付積立金	▲1億2,754万円
建設改良積立金	▲3億5,000万円

景観まちづくりを

条例制定

中央市保育の必要性の認定に関する基準を定める条例

施行期日：平成27年4月1日

子ども・子育て支援法の規定により、保育の必要性の認定に関する基準を定めます。

【制定内容】

* 保育の必要性の認定に関する基準について、必要な事項を定めます。（第1条から第4条までの構成）

子ども・子育て支援法による保育給付については、保護者の申請を受けた市町村が客観的基準に基づき区分し、認定を行います。

中央市景観条例

施行期日：平成27年4月1日

市、市民及び事業者等の協働による景観まちづくりを推進し、地域の特性を生かした良好な景観の実現を図るため、その基本的事項を定めます。

【制定内容】

* 地域の特性を生かした良好な景観の実現を図るため、基本的事項を定めます。（第1章第1条から第6章第38条までの構成）

第2章で良好な景観の形成の推進、第3章で市民等との協働による景観まちづくりの推進、第4章で中央市景観審議会について定めます。

条例改正

中央市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例

施行期日：公布の日 平成27年4月1日（第2条関係）

景観審議会委員及び不在者投票施設における投票外部立会人の報酬を定めるため、条例の一部を改正します。

【改正内容】

* 第2条関係

2 附属機関の委員

「景観審議会委員年額5,000円景観審議会委員（識見）1回10,000円」を加えます。

3 その他の特別職

「指定病院等の不在者投票外部立会人法第13条第2項に規定する額（10,700円）以内で、従事する時間に応じ、任命権者が市長と協議して定める額」を加えます。

中央市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例

施行期日 平成27年4月1日

消防団員が水火災、警戒、訓練等の職務に従事する場合における費用弁償の支給額の見直しに伴い、条例の一部を改正します。

【改正内容】

（1）水火災の場合1回につき「500円」を「1,000円」に改めます。

（2）警戒の場合1回につき「500円」を「600円」に改めます。

（3）訓練の場合1回につき「500円」を「600円」に改めます。

条例改正の続き

中央市国民健康保険条例

施行期日 平成27年1月1日

出産育児一時金の額について所要の改正を行うため、条例の一部を改正します。

【改正内容】

出産育児一時金39万円を40万4,000円に改めます。 総額42万円は変わりません。

中央市立田富福祉公園条例

施行期日 平成27年4月1日

田富福祉公園内コミュニティーセンターの利用料の減免等の見直しに伴い、条例の一部を改正します。

【おもな改正内容】

次の者は使用料を免除することができます。

- (1) 満80歳以上の者
- (2) 小学生未満の者
- (3) 身体障害者手帳の交付を受けている者
- (4) 療育手帳の交付を受けている者

また、市内に住所を有する満70歳から満79歳までの者について、使用料を1年度あたり36回まで免除します。

中央市敬老祝金支給条例

施行期日 平成27年4月1日

敬老祝金支給対象者および支給金額等の変更に伴い、条例の一部を改正します。

【おもな改正内容】

満100歳に達する者の祝金の額を30万円から10万円に改めます。

中央市ひとり親家庭医療費助成金支給条例

施行期日 公布の日

児童福祉法の一部改正に伴い、引用規定について所要の改正を行うため、条例の一部を改正します。

【改正内容】

児童福祉法の条ズレにより、第2条第4号中「第6条の2」を「第6条の3」に改め、「第6条の3」を「第6条の4」に改めます。

中央市立健康管理センター条例

施行期日 平成27年1月1日

市立田富健康管理センターの廃止に伴い、所要の改正を行うため、条例の一部を改正します。

【おもな改正内容】

田富健康管理センターの廃止に伴い、「中央市立健康管理センター条例」を「中央市立玉穂勤労健康管理センター条例」に題名を改めます。

中央市公民館条例

施行期日 平成27年1月1日

市立田富中央公民館の廃止に伴い、所要の改正を行うため、条例の一部を改正します。

【おもな改正内容】

「中央市立田富中央公民館」を「中央市立田富北部公民館」に改めます。

条例廃止**中央市保育の実施に関する条例**

児童福祉法の一部改正に伴い、本条例を廃止する必要性が生じたため。

第2回臨時会

平成26年第2回議会臨時会が11月27日に開催され、専決処分の承認2件、条例案件4件、補正予算10件が提案され、審議の結果、原案どおり承認及び可決されました。

専決処分の承認

平成26年度中央市一般会計補正予算（第5号）
市・県民税に係る還付加算金等の補正をしました。
141万円を追加（総額125億9,398万円）

平成26年度中央市一般会計補正予算（第6号）
衆議院議員選挙費の予算措置をしました。
1,393万円を追加（総額126億791万円）

条例改正

中央市職員給与条例

施行期日：公布の日（第1条関係）平成27年4月1日（第2条関係）

人事院勧告及び山梨県人事委員会の給与に関する勧告等により、給料月額、初任給調整手当の額及び勤勉手当の支給率を改正しました。

中央市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例

施行期日：公布の日（第1条関係）平成27年4月1日（第2条関係）

職員の給与改定等に照らし合わせ、期末手当の支給率を改正しました。

中央市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例

施行期日：公布の日（第1条関係）平成27年4月1日（第2条関係）

職員の給与改定等に照らし合わせ、期末手当の支給率を改正しました。

中央市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例

施行期日：公布の日（第1条関係）平成27年4月1日（第2条関係）

職員の給与改定等に照らし合わせ、期末手当の支給率を改正しました。

補正予算

会 計 名	補 正 額	総 額
一般会計	総務費の減額があるため補正額は0円	
国民健康保険特別会計	104万円	32億9,616万円
後期高齢者医療特別会計	7万円	2億907万円
介護保険特別会計	222万円	17億9,169万円
地域包括支援センター特別会計	30万円	2,751万円
簡易水道事業特別会計	21万円	2億4,859万円
下水道事業特別会計	33万円	13億5,579万円
農業集落排水事業特別会計	7万円	2億5,669万円
田富よし原処理センター事業特別会計	7万円	5,222万円
工業用地整備事業特別会計	20万円	6億1,968万円

平成26年第2回臨時会審議結果

○賛成 ●反対（伊藤公夫議長を除く）

種 別	案件名	議 長	副 議 長	中 央 フ ォ ー ム							市 民 ク ラ ブ		公 明 党		日 本 共 産 党	無 所 属		結 果		
		伊 藤 公 夫	小 沢 治	田 中 一 臣	福 田 清 美	田 中 健 夫	名 執 義 高	河 西 茂	小 池 章 治	金 丸 俊 明	齊 藤 雅 浩	井 口 貢	宮 川 弘 也	小 池 満 男	設 楽 愛 子	田 中 輝 美	木 下 友 貴		大 沼 芳 樹	保 坂 武
専決処分	・平成26年度一般会計補正予算（第5号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	・平成26年度一般会計補正予算（第6号）																			
条例改正	・中央市職員給与条例中改正の件		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	・中央市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例中改正の件																			
	・中央市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例中改正の件																			
	・中央市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例中改正の件																			
平成26年度補正予算	・一般会計補正予算（第7号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・国民健康保険特別会計補正予算（第3号）																			
	・後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）																			
	・介護保険特別会計補正予算（第2号）																			
	・地域包括支援センター特別会計補正予算（第2号）																			
	・簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）																			
	・下水道事業特別会計補正予算（第2号）																			
	・農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）																			
	・田富よし原処理センター事業特別会計補正予算（第1号）																			
	・工業用地整備事業特別会計補正予算（第2号）																			

平成26年第4回定例会審議結果

○賛成 ●反対（伊藤公夫議長を除く）

種 別	案件名	議 長	副 議 長	中 央 フ ォ ー ム							市 民 ク ラ ブ		公 明 党		日 本 共 産 党	無 所 属	結 果			
		伊 藤 公 夫	小 沢 治	田 中 一 臣	福 田 清 美	田 中 健 夫	名 執 義 高	河 西 茂	小 池 章 治	金 丸 俊 明	齊 藤 雅 浩	井 口 貢	宮 川 弘 也	小 池 満 男	設 楽 愛 子	田 中 輝 美		木 下 友 貴	大 沼 芳 樹	保 坂 武
条 例 制 定 改 正 廃 止	・ 中央市保育の必要性の認定に関する基準を定める条例制定の件																			可 決
	・ 中央市景観条例制定の件																			
	・ 中央市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例中改正の件																			
	・ 中央市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例中改正の件																			
	・ 中央市国民健康保険条例中改正の件																			
	・ 中央市立田富福祉公園条例中改正の件																			
	・ 中央市敬老祝金支給条例中改正の件																			
	・ 中央市ひとり親家庭医療費助成金支給条例中改正の件																			
	・ 中央市立健康管理センター条例中改正の件																			
	・ 中央市公民館条例中改正の件																			
	・ 中央市保育の実施に関する条例廃止の件																			
平 成 2 6 年 補 正 予 算	・ 一般会計補正予算（第8号）																			可 決
	・ 一般会計補正予算（第9号）																			
	・ 国民健康保険特別会計補正予算（第4号）																			
	・ 後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）																			
	・ 介護保険特別会計補正予算（第3号）																			
	・ 簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）																			
	・ 下水道事業特別会計補正予算（第3号）																			
	・ 農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）																			
	・ 田富よし原処理センター事業特別会計補正予算（第2号）																			
	・ 上水道事業会計補正予算（第2号）																			
	そ の 他																			
・ 上水道事業会計未処分利益剰余金の処分の件																				

市長の

行政報告

12月

定例会

市役所本庁舎の位置を 田富庁舎とし、平成31年度の 建設工事完成を目指します

中央市長 田中久雄

各施策の行政報告

庁舎整備

統合庁舎について、中央市庁舎整備市民検討委員会から田富庁舎とする提言書をいただきました。これを踏まえ市民懇談会を開催し、田富庁舎とするることについて、市民の皆さまにご理解いただけたいものと判断しました。基本計画を策定し、平成31年度の建設工事完成を目指します。

インフルエンザ等 対策行動計画

国・県の行動計画に合わせ、新型インフルエンザ対策を推進してきましたが、新たな行動計画「中

央市新型インフルエンザ等対策行動計画」として再度改定しました。市民の生命・健康を保護し、体制整備等、対策の強化を図っていきます。

見守りSOS ネットワーク

認知症等で高齢者が行方不明になる事案は、大きな社会問題です。南甲府警察署、甲府地区消防本部、市内金融機関、タクシー会社、配送事業者などと連携し、地域の協力を得て、12月から中央市見守りSOSネットワークを開始しました。

中央市景観計画

市民・企業・行政等が協働で良好な景観形成の実現を図ることを目的に、住民説明会を田富・豊富・玉穂地区で開催し、多くの市民が参加しました。条例施行後に、一定規模以上の建築物等の建築には、市への届出が必要となります。

ブランド米「とみほ富穂」

中央市ブランド米普及促進協議会が、第46回山日YBS農業賞の奨励賞を受賞しました。合併前の旧田富、玉穂、豊富の3町村名から1文字ずつ取った「とみほ富穂」に決まり、商標登録してあります。ブランド米の産地化に向け生産拡大を目指します。

リニア中央新幹線関係

JR東海は工事実施計画の認可を受け、住民向け事業説明会を県内10市町で開催。本市では11月



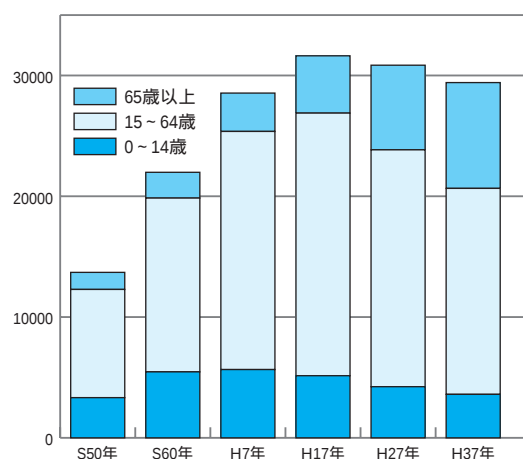
里山にそびえ立つ鉄塔!?

に玉穂総合会館で、約240人の地域の皆さまが参加しました。今後も地域の皆さまの理解を得られる説明会となるよう要請します。

リニア駅周辺整備検討委員会では、産業振興機能の整備方針、駅周辺地区のゾーニング、基盤整備の考え方などの説明があり、活発な議論が交わされました。残り2回の会議が予定されており、次回の会議でリニア駅周辺整備基本方針(案)の骨子案が示され、議論していきます。

中央市リニア活用推進懇話会では、リニア実験線小形山高架橋の視察を行い、超電導リニアの技術や特性を学び体験し、試験走行の様子を実際に見てリニアの知識を深め、より一層地域目線に立つて、今後の懇話会でまちづくりのあり方を検討できるよう取り組んでいきます。

中央市の人口推計(国勢調査(H22)を基に推計)



	0～14歳	15～64歳	65歳以上	不詳	計
S50年	3328人	8959人	1412人		13699人
S60年	5462人	14388人	2134人		21984人
H7年	5654人	19714人	3175人		28543人
H17年	5144人	21741人	4743人	55人	31650人
H27年	4235人	19609人	7007人		30851人
H37年	3601人	17052人	8759人		29412人

Q

人口減少対策の
専門部署は

A

庁内の連携に努める

金丸 俊明 議員

金丸議員 人口減少を食い止める根本対策は、また人口減少対策の取り組みと効果は人口減少対策の専門部署を立ち上げる考えは。

市長 本市は平成17年をピークに、22年には減少に転じ、今後も減少傾向が続くと予想されている。27年度中に「地域人口ビジョン」と「地域総合戦略」を策定するため、準備段階として過去の人口動向分析を行う出生児総数から死亡数を引いた自然動態調査では、若干の増加傾向にあるが、転入者と転出者を

Q

メガソーラーの急増問題は

A

景観条例を施行

比較した社会動態調査では、減少傾向にある。雇用確保が最優先課題ととらえ、撤退事業跡地への新たな誘致に努めている。出生・子育て対策や、人口の定着・流入を図り、あらゆる分野における総合的な対策が必要。プロジェクトチームのような体制を整備し、本市として効果が見込める重要項目を検討・選考、事業を推進していきたい。

【関連質問】
▼福田清美議員

名執 義高 議員

名執議員 山梨県内および中央市の太陽光発電の設置状況と、認定済み未稼働施設は、大規模設備で懸念される事態と設置規制は、農地の再エネ事業への転用面積は、火災の事例は、発電装置自体の危険性は、消防活動上の危険性や問題点は、

市長 27年4月施行予定の市の景観条例で、10

2m以上施設は届出を義務付ける。
環境課長 26年8月現在、太陽光発電装置の県内設置件数は24、956件、中央市は1、100件。認定済み未稼働施設は県18、922件、市242件。

た事例がある。

農政課長 転用の許可権限は県にある。基本的に第1種農地の転用はないが、本市で営農の適切な継続の条件付で設置した事例がある。



大規模太陽光発電施設

危機管理課長 火災発生事例はない。装置は経済産業省の基準で認定されている。事例が少なく、今後の検討課題。

名執議員 スマートメーターの導入状況は。スマートメーターの電磁波による健康被害は。プライバシー侵害の恐れは。

環境課長 件数は把握されていない。現在は実証実験段階で稼働時期は未定。

被害報告はない。個人情報保護を重視することのこと。

【関連質問】
▼齊藤雅浩議員
▼河西 茂議員

Q

安心安全なまちづくりは

A

除雪体制を強化する

小池 満男 議員



雪害の被害から再建されたハウス

小池議員

野菜栽培用

ハウスの倒壊や春野菜など壊滅的な被害を受け大幅な減収が生じたが、雪害で被災した農家数は、相談会への参加者は、県に提出した書類の内容は、

国の復興補助は延長されるか。

物置、雨樋、カーポート等の被災状況は、

地域防災計画改定の進捗状況と取り組みは、

農政課長

国に申請し

ている農家数は123件、個人面談への参加者は

92人。残り31人は事前相談時に対応した。

計画承認申請書を提出。県の指示で事務手続きを進める。

資材、人材が間に合わない現状。繰り越し要請している。

環境課長

罹災証明書

発行件数で87件、公共施設の雨樋破損や施設損壊は24件などで、188件が国、県への報告となつ

ています。

A

理解を深めたい

Q

発達障がい者の緊急時対応は

設楽 愛子 議員

設楽議員

「防災ハンドブック」を活用する考えは、

自閉症の理解、支援のための研修を幅広く実施する必要性があるのでは、

要援護者名簿で、発達障がい者はリストアップされているか。

市長

防災ハンドブック

ている。

危機管理課長

降雪時

の配備体制、建設協力会による除雪体制の強化、市民・自治会への対応基準の策定を進めている。

各種災害対策は関係機関と連携し、体制を構築したい。

【関連質問】

▼田中健夫議員

▼田中輝美議員

クの活用も検討する。

自閉症の理解を深めることは必要。防災ハンドブックの活用と合わせ検討する。

福祉課長

要援護者名簿に、障がいの区分はあるが、発達障がいの方の特定はできないのが現状。

設楽議員

育児相談、情



制作が望まれる緊急時対応ハンドブック

報提供、人材育成などの機能を持つ、子育て支援センターの開設は、

市長 児童館は11カ所、他町村に比べ多く配置されている。一元的機能を持った支援センターは、今後の庁舎統合の中で検討したい。

市議会

地域包括ケア会議の様子



Q 介護予防給付見直しで 地域支援事業は A 総合事業で多様な サービスを展開

田中 輝美 議員

田中議員 介護保険制度改定により要支援の通所介護と訪問介護が外される。住んでいる地域の違いで、サービスの質・料金に差が出るのでは。要支援者への対応は。市民の不安解消は。現時点での準備状況と今後の課題は。

市長 介護保険制度改正で、市独自の総合事業に取り組まねばならない。サービス低下を不安視する声もあるが、多様なサービス展開のチャンスといえる。これまでも包括支援センターを中心に、地域づくりを進めてきた。今後も高齢者が住んでよかったと思えるよう努めたい。

高齢介護課長 面談を行い、必要な人にサービスが提供できるよう努める。

包括支援センターで個別に対応し、本人、家族の不安解消に努める。地域包括ケアシステムの基盤整備に努めている。今後、事業者のコミュニ

ティーサロン設置などを予定している。

Q 子育て支援は A 良質な水準を確保する

木下議員 子ども子育て支援制度の保育の理念は。新制度における保育水準の確保は。待機児童の解消を図る地域型保育事業の基準、安全性の確保は。

市長 基本理念に3項が定められている。策定中の子ども子育て支援事業計画に反映させる。

子育て支援課長 条例で、保育園等の施設運営上の最低基準を定めた。受け入れる乳幼児数による保育士等の配置基準を設けている。国の基準に基づき、良質な保育サービスの提供を実現する。

木下議員 街灯の整備

木下 友貴 議員

方針は。防災行政無線を補う、他の確認手段は。ツイッターによる情報発信は。

総務課長 指定通学路と主要幹線は市が設置。その他は3分の2を補助、



認定こども園 わかばナーサリー

自治会が設置。
危機管理課長 テレホンサービス利用は月間約180件、メール配信サービス登録者約780人。
政策秘書課長 導入したい。ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）の、どのシステムが有効か検討している。

【関連質問】
▼田中輝美議員
▼田中健夫議員

訂正とお詫び

第35号(12月1日発行)の10ページで金丸俊明議員の一般質問の関連質問者に誤りがありましたので、訂正お詫びします。

(誤) 小池満男議員
(正) 小池章治議員

総務教育常任委員会

審査ポイント

豊富小学校遊具の修繕の内容は

中央市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例中改正

総務課

問 都市計画審議会委員の報酬が6、500円に対し、景観審議会委員の報酬が5、000円と決めた経緯は。

答 近隣市町に確認し、法令審査会で決定した。

平成26年度一般会計補正予算（第8号）

政策秘書課

問 プリンターのカラーインクの購入とあるが、管理はどこか。

答 政策秘書課の企画情報担当で行っている。

問 経費削減の考えのもと、コピー用紙の管理はどのようなか。

答 管財課で一括購入して管理している。

教育総務課

問 豊富小学校遊具の修繕と



経年劣化により修繕する遊具（豊富小）

あったが、前回遊具を移動した際、危険な遊具は撤去した経緯がある。今回の内容は、**答** 屋外の吊り下がりのロープが経年劣化により2本切れたため修繕をする。

厚生常任委員会

審査ポイント

祝金を減らした分はどのように使用するのか

中央市敬老祝金支給条例中改正

高齢介護課

問 自治会の75歳以上に1人当たり2、500円支給している高齢者の生きがいと健康づくり交付金はどうなるか。

答 今までどおり。

問 100歳の場合30万円が10万円になるが、77歳、88歳、99歳はどうなるのか。

答 77歳、88歳、99歳は現状どおり。

問 祝金を減らした分はどの

ように使用するのか。
答 地域支援事業など高齢者にとって必要な事業に力を入れる。

平成26年度一般会計補正予算（第8号）

高齢介護課

問 田富福祉公園のお風呂のジャグジー4つのうち3つが弱く、修理の見込みは。

答 ポンプの不具合等により生じている。今後修理していきたい。



田富福祉公園の温泉（ジャグジー）

産業土木常任委員会

審査ポイント

開発行為の制限について

中央市景観条例制定
都市計画課

問 開発行為の制限について
詳細説明を。

答 地域ごとに制限事項を定めていく。市街地景観形成地域を例にとると建築物の高さは20m以下、ただし、都市計画法に基づく工業専用地区は30m以下となっている。また、屋根については四角い陸屋根ではなく出来るだけ勾配屋根とし、屋上に設ける施設については、露出しないようにする。店舗の看板は、過度の光



大鳥居地区の農村景観

量やけばけばしくならないようにする。太陽電池のモジュールの色は黒色で低彩度の目立たないものとし、反射等を十分考慮するなど周辺の景観に違和感がないよう高さや色彩を制限していく。

平成26年度簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）

水道課

問 上水道事業会計から借入れをするとのことだが、上水道事業会計の剰余金はいくらか。また、いくら借入れをするのか。

答 約5億円あり、その内約1億2、700万円を借入れする。

問 借り入れをしなくても成り立つて行けることが大事だと思ふ。また、良い水が出ると聞いているが井戸で対応できないのか。

答 料金改定を平成29年4月に予定しており、独立採算性を考え、取り組む。井戸については、枯渇の恐れがあり、10年前に広瀬ダムの水を利用する計画をしたが、現状では不足していない。

総務教育常任委員会

視察研修

日 程：平成26年11月7日（金）
視察先：埼玉県行田市

行田市は、平成23年より人口減少対策に取り組み、平成26年度には定住促進計画に基づき各種事業を展開しています。

平成22年の国勢調査で県内の市でワースト2が取り組みの発端とのこと。若手職員5名による検討会、研究発表会という大胆な発想のもとスタートし、定住促進、交流促進を基本とした「住まい行田プロジェクト」を発足。現在その成果が出ています。子育て世帯定住促進奨励金対象者は、平成26年度 60世帯・218人に及びます。企業立地促進事業では、4社で雇用131人となっています。市税が増え、地域経済の活性化の効果があつたと評価しており、取り組み姿勢が参考となりました。



閉会中の勉強会

日 程：平成26年10月31（金）
テーマ：中央市の防災体制全般について

昨年の市内の大雪、広島県の土石流、長野県地震による大きな災害はそれぞれ甚大な被害を受けました。そんな中、市の防災、減災の取り組みについて再確認し、意見交換を行いました。災害対策本部の設置、市内の危険個所の把握、情報提供、総合防災訓練等、市の最新の取り組みを確認し、昨年発生した急傾斜地の崩壊、台風18号、19号による被害と情報収集の状況などを把握しました。特に豪雪被害を教訓に「降雪時対応基準（素案）」を作成し、災害に備える体制整備を進めている点は今後期待するところです。玉穂地区神明川の氾濫危険個所、豊富地区前山の崩落危険個所を現地視察し、早急な対策を実感したところです。



厚生常任委員会

視察研修

日 程：平成26年11月13日（木）
視察先：学研ココファン（神奈川県横浜市）

横浜市にある先進的取り組みをしている「サービス付き高齢者住宅」を運営している学研ココファンを視察しました。この施設は、国土交通省と厚生労働省が共同所管となっていることから、単に高齢者の住まいとしての位置付けだけでなく、全国に40万人以上といわれる特別養護老人ホームの待機者の解消や、在院日数の短縮による退院患者の在宅復帰先としての機能も期待されており、今後10年で60万戸の整備目標が掲げられています。



閉会中の勉強会

日 程：平成26年11月6日（木）
テーマ：国民健康保険制度全般について

保険課長から国民健康保険制度、保険税、被保険者、医療費などの推移の説明を受けました。超少子高齢社会を迎え、団塊世代の方々が高齢者の仲間入りをします。安定した事業運営に向け、徴収率の向上、収入未済額の減少を図り、今後も保険給付費の増加が見込まれることから、医療費の抑制につなげるためにも健康の増進や生活習慣病の予防などの市民の健康づくりの必要性を感じました。



産業土木常任委員会

視察研修

日 程：平成26年11月14日（金）
視察先：長野県平谷村

日帰りで長野県の最南端に位置する平谷村を訪問し、研修テーマの農業経営の多角化・6次産業化について研修会を実施しました。平谷村は標高900mの高原で平地の少ない典型的な山村であり、人口も500人余りで県下最小の村ですが、耕地面積も少なく、農業も零細であるにも関わらず、早くから6次産業化へ取り組みを進めてきた村です。役場担当者より6次産業化への取り組み状況や問題点などを聞き、大変参考となった研修会でした。



研修で訪れた
道の駅信州平谷

閉会中の勉強会

日 程：平成26年10月29日（水）
テーマ：景観条例制定に向けた取り組み等について

平成26年第4回定例議会に、新たに制定される予定である中央市景観条例が提出されることから、事前に条例内容を勉強しておくことが重要であるため、都市計画課の担当職員から条例内容の説明を受け、理解を深めました。



新しい議員が決まりました

任期

平成27年2月20日～

平成31年2月19日

1月25日に中央市議会議員一般選挙が行われ、市民の代表として市政を担う新議員18名が当選しました。

また、2月20日より新議員（第4期議員）による議会がスタートしました。今後も議会活動に対して、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。



渡辺 亨
関原1285番地



田中 清
東花輪434番地



齊藤 雅浩
西花輪261番地7



金丸 俊明
極楽寺1289番地1



木下 友貴
井之口597番地



田中 輝美
上三條90番地26



小池 章治
臼井阿原683番地



河西 茂
布施1833番地



関 敦隆
布施2051番地



名執 義高
山之神4番地91



伊藤 公夫
中楯1325番地



田中 健夫
東花輪372番地



宮川 弘也
若宮22番地13



井口 貢
井之口603番地



福田 清美
大鳥居3018番地



山村 一
極楽寺427番地



田中 一臣
上三條522番地



山本 國臣
西花輪2628番地1

掲載順は期別（旧町村を含む）・年齢順です。

リニア中央新幹線対策特別委員会

JR東海によるリニア中央新幹線の事業説明会が平成26年11月6日に玉穂総合会館において行われ、住民240人が参加しました。質問では工事内容や振動・騒音・電磁波の問題、特に用地補償に関する質問が多くありました。

また、リニアのルートが田富北小学校の敷地を横断するため「校舎、体育館、プール、グラウンドを一体として移転してもらいたい」とJR東海から示されました。

リニア中央新幹線対策特別委員会では、今後も市民目線で諸問題について必要な調査を行い、検討し、報告していきます。

庁舎整備特別委員会

—当局に提言書を提出—

庁舎整備特別委員会では、これまでに5回の特別委員会が開催され、意見、協議を重ねて来ました。

本特別委員会では、合併後に行われてきた庁舎整備に関する経過や特別委員会における審議内容・意見等の中間報告を行い、12月定例会において、市議会として現時点における当局への提言、要望として庁舎整備の進め方・統合庁舎の規模や機能・支所機能と残存する空きスペース・財源確保と合併特別債充当対象事業について「中央市庁舎整備基本計画策定にあたっての提言書」を提出しました。

これからも必要に応じ特別委員会を開催し、庁舎整備に関する諸問題等について調査・検討していきます。

平成27年3月定例会の予定

3月議会は、次のとおりの予定となります。お気軽に、傍聴においでください。

10日(火)	午前10時	開 会
12日(木)	午前9時30分	総務教育常任委員会
13日(金)	午前9時30分	厚生常任委員会
16日(月)	午前9時30分	産業土木常任委員会
17日(火)	午前10時	一般質問

18日(水)	午前10時	一般質問
19日(木)	午前9時30分	予算特別委員会
23日(月)	午前9時30分	予算特別委員会
24日(火)	午前9時30分	予算特別委員会
26日(木)	午前10時	閉 会

日程等は定例会前の議会運営委員会で決定されます。変更される場合がありますのでご了承ください。

議 会 の 動 き

10月

7日 大畠山外七字恩賜県有財産保護組合議会定例会	19日 庁舎整備特別委員会
7日 西日向外三山恩賜県有財産保護組合議会定例会	20日 議会運営委員会
14日 広報編集委員会	25日 中巨摩広域事務組合議会臨時会
16日 三郡衛生組合議会定例会	27日 第2回臨時会
23日 山梨県市議会議長会定期総会	28日 三郡衛生組合議会定例会
28日 山梨県後期高齢者医療広域連合組合議会	28日 議会改革推進委員会
29日 産業土木常任委員会勉強会	
30日 庁舎整備特別委員会	
31日 総務教育常任委員会勉強会	

11月

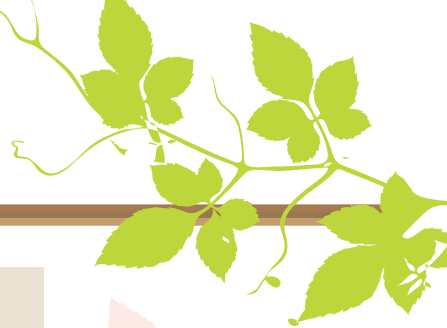
4日 広報編集委員会
5日 議会運営委員会
6日 厚生常任委員会勉強会
7日 総務教育常任委員会行政視察研修
13日 厚生常任委員会視察研修
14日 産業土木常任委員会行政視察研修

12月

2日 議会運営委員会
9日 第4回定例会開会
12日 庁舎整備特別委員会
12日 リニア中央新幹線対策特別委員会
19日 第4回定例会閉会
22日 東八代広域行政事務組合議会定例会
25日 中巨摩広域事務組合議会定例会
25日 甲府地区広域行政事務組合議会定例会



市民の談話室



山之神
伏見 莊二



中央市は美人の名産地

36年前に甲府からリーバーサイドに移ってきました。新興住宅地で自由な気風が気に入りました。しかし、長男の小学校の運動会ではビックリしました。全校児童が地元の民謡「粘土節」を寸分の狂いもなく、力強く大地を踏みつけ砂埃を上げて踊るではありませんか。

なんという郷土愛、そしてその歌の内容は、氾濫で流された釜無川の土手の構築に駆り出された若い男女の中に、それはそれは姿も声も美しい「おたか」が男たちを励まして、7年もの工事を成し遂げたという実話なのです。

日本中にもこんな地域を救った美人の民謡はありません。130年も後の世に語り継がれる美人伝説は、中央市の町おこしになると思います。

「^{オタカヤン}OTK8」とか名付けて女子ユニットを作り、今風のサウンドとスタイルで、マスコミを巻き込み売り出したらいいかも？とボケた頭で考えながら、今日も釜無川の土手を散歩するオジンです。



高部
後藤 正興



起て!シニア

ある新聞紙上に高齢者デモ隊の話が出ていた。目的は私利私欲ではなく、国家の為になる事柄だという、元気な高齢者に頭が下がる気がする。

中央市のことぶきクラブ会員は2千名になんなんとする。各自が健康長寿のため自己管理をし、通院数を1回減らしたとしても、医療費の削減は多大で、国策に沿うことになる。

心が老いてはだめだ、いつでも心は明るく爽やかに、前向きに保ちたいものだ、常日ごろから考えている。

過日ことぶきクラブ、障害者福祉会と小学校5年生との交流グラウンド・ゴルフ大会が開かれ小生も参加した。若者は高齢者から種々知識を、われわれは若さを大いに吸収し大いに有意義なひとときであった。

こんな歌がある、「頭の洗濯生きがいは何かひとつの趣味持って、長生きしろよボケたらだめだ」。

最後に1句

「起てシニア より良い国を 次世代に」
エイ、エイ、オー！

編集後記

今議会は改選前最後の議会でした。また、開会直前に国会が解散され、総選挙が行われているさなかの議会となりました。いろいろと忙しい時期でしたが一般質問、条例・予算審議において、活発に議論されました。また、庁舎整備の問題では市長に対し、議会として提言を出すことも出来ました。

この第36号をもって現編集委員での発行は最後となります。この4年間はレイアウトの変更も行い、少しでも市民の皆様に分かりやすい議会だよりを目指して編集委員一同、作業を行ってまいりました。

紙幅の都合もあるなかで、どれだけ分かりやすく議会の様子を伝えられるか、試行錯誤はつきません。今後も編集委員の皆さんによる引き続きの頑張りによりよい議会だよりとなることを願っています。

[木下友貴]

議会広報
編集委員会

委員長
副委員長
委員

田中 輝美
木下 友貴
河西 茂 名執 義高
小池 満男 福田 清美